

◎ ACG プレスリリース — 展覧会開催のご案内 —

ACG eyes 7: Records — 佐々木類・新平誠洙・堀川すなお —

ACG eyes 7: *Records*—Rui Sasaki, Seishu Niihira, Sunao Horikawa—



[上左] 佐々木類《植物の記憶 / Subtle Intimacy》2019 | ガラス、植物(2012~2019年の国内外で採取)、LED、木枠 | 富山市ガラス美術館蔵 | 撮影: 岡村喜知郎
[上右] 堀川すなお《バナナ#551"バナナ#3.(28)F.観察;日本人#1"google翻訳、読み;パキスタン人/パキスタン・イスラム共和国(21)#1F.2010-11》
2020 | 顔料、ダンマルワニス、テレピン、オイルパステル、タルク、合成樹脂塗料、綿布、シナランバーパネル | 撮影: 前谷開
[下] 新平誠洙《Inversion2R》2021 | 油彩、キャンバス、アルミフレーム、回転機械 | 機械設計・製作: 乃村拓郎 | 撮影: 来田猛

“ACG eyes”は、アートコートギャラリーが注目する若手作家を、気鋭の新作とともに紹介するシリーズ企画です。

佐々木類、新平誠洙、堀川すなおの3作家は、それぞれに一貫したコンセプトと手法によってモチーフに内在する時間や事象を“記録”し、多様な世界と人々との関係を日々探求しながら作品を制作しています。本展では「Records」をテーマに、作品の内に蓄積されたユニークな“記録”にフォーカスを当て、身の回りにあるモチーフを知の系譜へとビジュアライズしてゆく彼らの表現の魅力をご紹介します。

大阪では初発表となる佐々木類は、本展のために制作した《植物の記憶》シリーズを中心に約10点の作品を出展します。板状のガラスに植物を挟み込み、高温の窯の中で生育した土地の記憶とともに封印するこのシリーズを、佐々木は10年以上も継続して制作しています。出会いや時の移ろいを窓や庭の存在と重ね合わせつつ、ガラスの世界に身を投じた植物の表情で幻想的な空間を創り出します。

新平誠洙は、東京オリンピック2020開催を契機に手掛けた《Inversion2》シリーズを出展します。1936年のベルリンオリンピック記録映像から引用したドイツの円盤投げの選手に、五輪のフラッグを重ね合わせて描いた本作で、新平は絵画面を高速回転させフラッシュライトを当てながら見せるストロボスコープの原理を用いたバージョンを制作。臨場感あふれる絵画体験で知覚に揺さぶりをかけます。

堀川すなおは、「分かるとはどういうこと?」について考えながら、約15年間に渡って観察し続けている“バナナ”をモチーフに描いた約20点の新作絵画を出展します。観察はさまざまな人種や年代の人々も交えて行われ、言葉や絵によって表現された情報をもとに、堀川は人間の解釈が導く“バナナ”のかたちを描きおこしていきます。緻密な線画の集積は、新たな創造の回路を開く無限の可能性に満ちています。

【展覧会概要】

展覧会名: ACG eyes 7: Records — 佐々木類・新平誠洙・堀川すなお — ACG eyes 7: *Records* -Rui Sasaki, Seishu Niihira, Sunao Horikawa-

会期: 2022年 8月20日 [土] — 9月17日 [土] *日・月・祝 休廊

会場: アートコートギャラリー 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間: 11:00 — 18:00 [土曜日 — 17:00]

◆ 関連イベント: アーティストトーク 8月20日 [土] 14:00—15:30 *定員20名、要予約 [info@artcourtgallery.com / 06-6354-5444]

主催: アートコートギャラリー(株式会社八木アートマネジメント) | 協賛: 三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 大場] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© Artist CV

佐々木類 Rui Sasaki

1984 高知県生まれ
2006 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科ガラス専攻 卒業
2010 ロードアイランドスクールオブデザイン修士課程ガラス科修了
2010-11 ウースター州立大学付属ウースターセンターフォークラフト 講師
2012 京都造形芸術大学教育教養センター 講師
2013-16 富山市立富山ガラス造形研究所 助手
2017-21 金沢芸術財団法人金沢卯辰山工芸工房 専門員

【主な展覧会】

- 2022 「人工 | 自然 “Beautiful Artifacts”」 Living Motif, 東京
「透明展」ウサギノネドコ, 京都 [’21「蛍光展」、’20「透明展」]
「コレクション展 “三つのフローラ”」富山市ガラス美術館、富山
「MEET YOUR ART FESTIVAL 2022 ‘New Soil’ ART Exhibition
The Voice of No Mans Land」恵比寿ガーデンプレイス ガーデンホール、東京
「光的旅程-玻璃藝術聯展」Touch Ceramics、香港
「荒俣ワンダー 秘宝館特集展示 不自然(マンメイド)な植物展」角川武蔵野ミュージアム、埼玉
2021 「ラビット・ドラゴン・マウン展」高島屋 大阪 NEXT / 日本橋美術画廊 / 京都美術画廊、大阪/東京/京都 [’22]
個展「太陽と空気の溜まり場」TRUNK HOTEL、東京 [’22]
「GO FOR KOGEI 2021 特別展I 工芸的な美しさの行方-工芸、現代アート、アール・ブリュット-」那谷寺、石川
「富山ガラス大賞展 2021」富山市ガラス美術館、富山
「Voice of Glass Collaborative」ラトビア国立美術館(ラトビア)
個展「忘れじの庭」DIEGO 表参道、東京
「国際工芸アワードとやま」富山市ガラス美術館、富山
2020 「インタラクション:響きあうところ」富山市ガラス美術館、富山
2019 「Glass Art Toyama 2019」富山市ガラス美術館、富山
個展、Lights Gallery、愛知
「New Glass Now」コーニングガラス美術館、ニューヨーク、アメリカ [’20]
「美の予感2019-∞ directions-」高島屋美術ギャラリー(日本橋、大阪、京都、名古屋 巡回)、東京/大阪/京都/愛知
「Rui Sasaki & Nina Westman: Nyctophilia- Light in the Absence of it」エベルトフトガラス美術館、エベルトフト、デンマーク
2018 「工芸x 霊性」石川県政記念しいのき迎賓館、石川
「工芸建築展」金沢21世紀美術館、石川
「Milano Vetro -35」Castello Sforzesco、ミラノ、イタリア
「ガラスの植物園」石川県能登島ガラス美術館、石川



佐々木類《植物の記憶 / 忘れじの庭
-雪解けた東の間の晴れ間
の卯辰山にて-》
2022 | ガラス、植物(2022年に採取)

【主な受賞】

- 2021 富山ガラス大賞展 <大賞> 富山市ガラス美術館、富山
2019 Rakow Commission Award 2018 <大賞> コーニングガラス美術館、ニューヨーク、アメリカ
2016 The Irvin Borowsky International Prize in Glass Arts <大賞> The University of the Arts、ペンシルバニア、アメリカ
2015 第8回雪のデザイン展 <奨励賞> 中谷宇吉郎雪と氷の科学館、石川
Jutta-Cuny Franz Memorial Award <大賞> Jutta Cuny-Franz 財団、デュッセルドルフ、ドイツ
2014 第8回 London International Creative Competition <佳作> 建築デザイン、インスタレーション部門、ロンドン、イギリス
2012 第1回 International Biennale of Santorini <銅賞> サントリーニ島、ギリシャ

【主なコレクション、作品設置】

Museum of American Glass (アメリカ)、エベルトフトガラス美術館(デンマーク)、The Ernsting Stiftung ガラス美術館(ドイツ)、ロンメル市(ベルギー)
コーニングガラス美術館(アメリカ)、ラトビア国立美術館(ラトビア)、富山市ガラス美術館(富山)、ウサギノネドコ(京都)、金沢彩の庭ホテル(石川)



佐々木類《植物の記憶 / Subtle Intimacy》
2019 | ガラス、植物(2012-2019年の国内外で採取)、LED、木枠 | 富山市ガラス美術館蔵 | 撮影:柳原良平



佐々木類《The Unknown Corner》
2019 | ガラス、空間 | 撮影:Atsushi Suzuki

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 大場] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© Artist CV

新平誠洙 Seishu Niihira

1988 大阪府生まれ
2014 京都市立芸術大学大学院美術研究科 絵画専攻 修了
2016-17 渡米・渡蘭
2018 京都市立芸術大学大学院美術研究科 絵画専攻 博士(後期) 課程 退学

【主な展覧会、受賞】

2022 「Kyoto Art for Tomorrow 2022-京都府新鋭選抜展-」<アンスティチュ・フランセ関西賞>京都文化博物館、京都
2021 個展「curator's vol.2 新平誠洙 Inversion2 反転/倒錯」GALLERY TAGA 2、東京
個展「蒐集峇藝」ボヘミアンズ・ギルド、東京
2020 個展「PAINKILLER」KUNST ARZT、京都
個展「新平誠洙 at artTNZ produced by AFT with APCA」[アートコートギャラリーより出展] TERRADA ART COMPLEX II、東京
2019 個展「新平誠洙 at ART OSAKA 2019」[アートコートギャラリーより出展] ホテルグランヴィア大阪、大阪
2018 「田村友一郎 叫び声/Hell Screen」京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、京都
個展「DiVISION」アートコートギャラリー、大阪
「Colors of KCUA 問問」The Terminal KYOTO、京都
2015 「Celsius」CASHI、東京
個展 新平誠洙「windows upset」アートコートギャラリー、大阪
2014 「Surge/リブログ 新平誠洙/岸本光大」海岸通ギャラリー CASO、大阪
2013 「△のリングー-この世界を変える 4つ目のリングーについての仮説-」studio J、大阪
2012 「アートピーポーマッピング」京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA、京都
「ACG eyes 5:Four Paintings」アートコートギャラリー、大阪

【主なコレクション】

JAPIGOZZI Collection



新平誠洙 《Inversion2R》

2021 | 油彩、キャンバス、アルミフレーム、回転機械
機械設計・製作: 乃村拓郎 | 撮影: 来田猛



新平誠洙 《Inversion2M #1》《Inversion2M #3》

2021 | 油彩、キャンバス、麻紐、アルミフレーム
撮影: 来田猛

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 大場] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© Artist CV

堀川すなお Sunao Horikawa

東大阪の発明家の家系に生まれる。

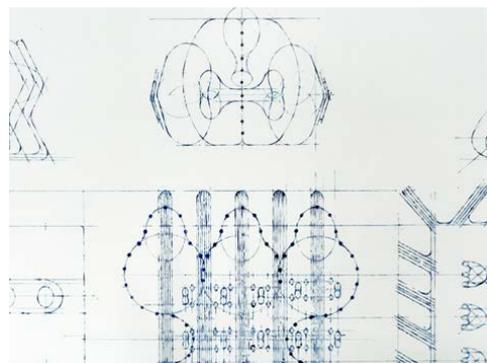
- 2008 クーパーユニオン芸術大学留学
- 2010 京都精華大学 芸術学部造形学科洋画専攻 卒業
- 2012 京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻油画分野 修了
- 2015-16 平成27年度ポーラ美術振興財団在外研修員としてニューヨーク滞在
- 2019 ウィンドウディスプレイ制作、ポーラ・ザ・ビューティー銀座、東京
東大阪市文化創造館の中庭にパブリックアートを制作・設置

【近年の主な展覧会】

- 2022 「第25回岡本太郎現代芸術賞」川崎市岡本太郎美術館、神奈川
「DRAWINGS」 ex-chamber museum、東京
- 2021 個展「分かろうとしようとする行為」東大阪市文化創造館、大阪
個展「解釈と行為 #3」 ex-chamber museum、東京
「Symptoms-4つの思考と身体性-」 アートスペース感、京都
「Kyoto Art for Tomorrow 2021-京都府新鋭選抜展-」 京都文化博物館、京都
- 2020 個展「解釈と行為 SEEING AND PRACTICING #2」 FINCH ARTS、京都
- 2019 「Exploring -共通するものからみつける芸術のかげら」大阪府江之子島文化芸術創造センター、大阪
- 2018 「未完の庭、満ちる動き」青森公立大学国際芸術センター青森、青森
- 2017 「清流の国ぎふ芸術祭 ART AWRD IN THE CUBE 2017」岐阜県美術館、岐阜
- 2015 「Art Court Frontier 2015 #13」アートコートギャラリー、大阪
個展「解釈と行為 SEEING AND PRACTICING」大阪府江之子島文化芸術創造センター、大阪
- 2014 個展「クリテリウム87」水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 2012 「VOCA展-新しい平面の作家たち2012-」上野の森美術館、東京

【主なコレクション、作品設置】

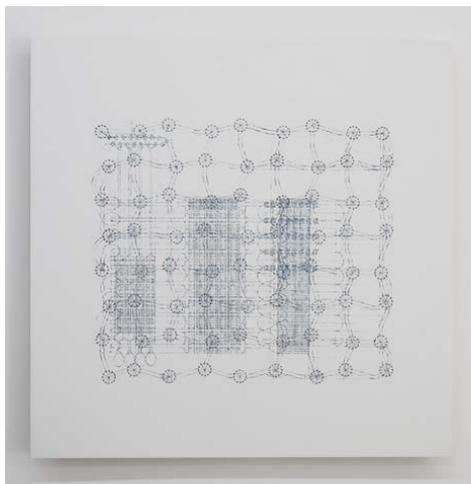
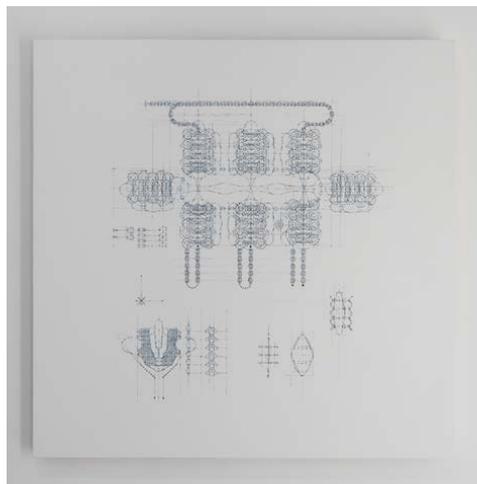
東大阪市文化創造館、JAPIGOZZI Collection、京都銀行



堀川すなお

《バナナ#551》バナナ#3.(28)F.観察;日本人#1"
google翻訳、読み;パキスタン人/パキスタン・
イスラム共和国(21)#1F.2010-11》(部分)

2020 | 顔料、ダンマルワニス、テレピン、オイルパステル、タルク、
合成樹脂塗料、綿布、シナランバーパネル



堀川すなお

《バナナ#552》バナナ#3.(28)F.観察;日本人#1"
google翻訳、読み;ザンビア人/ザンビア共和国(23)
#1F.2010-11》

《バナナ#553》バナナ#3.(28)F.観察;日本人#1"
google翻訳、読み;トルコ人/トルコ共和国(33)
#1F.2010-11》

2020 | 顔料、ダンマルワニス、テレピン、オイルパステル、タルク、
合成樹脂塗料、綿布、シナランバーパネル | 撮影:前谷開



堀川すなお

《バナナ》シリーズ (ドローイング)

2021 | 個展「分かろうとしようとする行為」会場風景
撮影:表恒匡